

**ポンプ分解時ドライバーとハンマーで衝撃を与え フランジ面が破損した****【発生状況】**

ポンプの分解整備にて、ケーシングが外れなかったため ジャッキボルトを押し  
てできた隙間にドライバーを差し込み、ハンマーで叩いたところ軸受ブラケット  
(フランジ面)が破損した。

**【破損状況】****【原因・問題点】**

- ① 鋳物が破損しやすいという認識が不足していたため、安易に衝撃を与えた。
- ② ポンプの構造の理解不足。(ジャッキボルトを押しと軸受ブラケットに力がかかる構造になっていた)

**【対策】**

- ① 鋳物は破損しやすいという認識を持ち、必要以上の負荷を与えないように注意する。(負荷の大きさ、負荷のかけ方、負荷のかかる箇所について配慮する)
- ② 分解作業においては、図面を見て構造や仕組みを理解した上で作業を行う。